

コーポレートガバナンスの強化

経営の健全性と透明性を高め、社会から信頼されるための仕組みづくりを進めます。

コーポレートガバナンス

NTT西日本グループは、経営の効率性を高め、すべてのステークホルダーからの信頼に応えられる透明性と健全性そして遵法性を確保することを目的に、コーポレートガバナンス体制の強化に取り組んでいます。

○取締役会

会社の重要な業務執行を決定するとともに、取締役の職務執行を監督する役割を担っています。取締役会は14名（うち社外取締役1名）で構成され（2006年7月現在）、毎月1回開催しています。

○経営会議

事業の基本方針、その他経営上の重要事項について議論・審議を行い、会社経営の基本戦略を確立し、その円滑な遂行を図ることを目的に経営会議を設置しています。また、経営会議の

もとに各種委員会を設置しています。

○監査役会

監査役会は3名（うち社外監査役2名）で構成され、各監査役は取締役会等重要会議への出席等を通じ、業務の執行状況について適宜監査を行います。

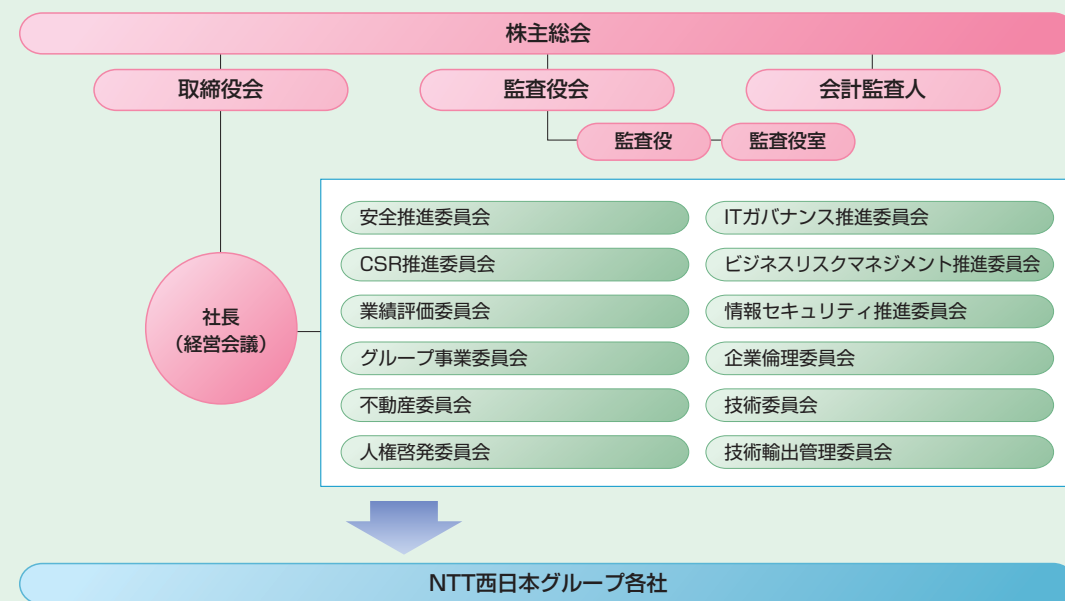
2006年7月には、監査役の業務をサポートする専任組織として監査役室を設置するなど、監査機能の強化を図りました。

○内部統制システム

2006年7月、NTT西日本グループでは、法令遵守、損失の未然防止と最小化に向けた危機管理および効率的な事業運営を行うことを目的として、内部統制システムの整備を行いました。

なお、内部統制システムの整備・運用状況について検証・評価する組織として考査室を設置しました。

●コーポレートガバナンス体制



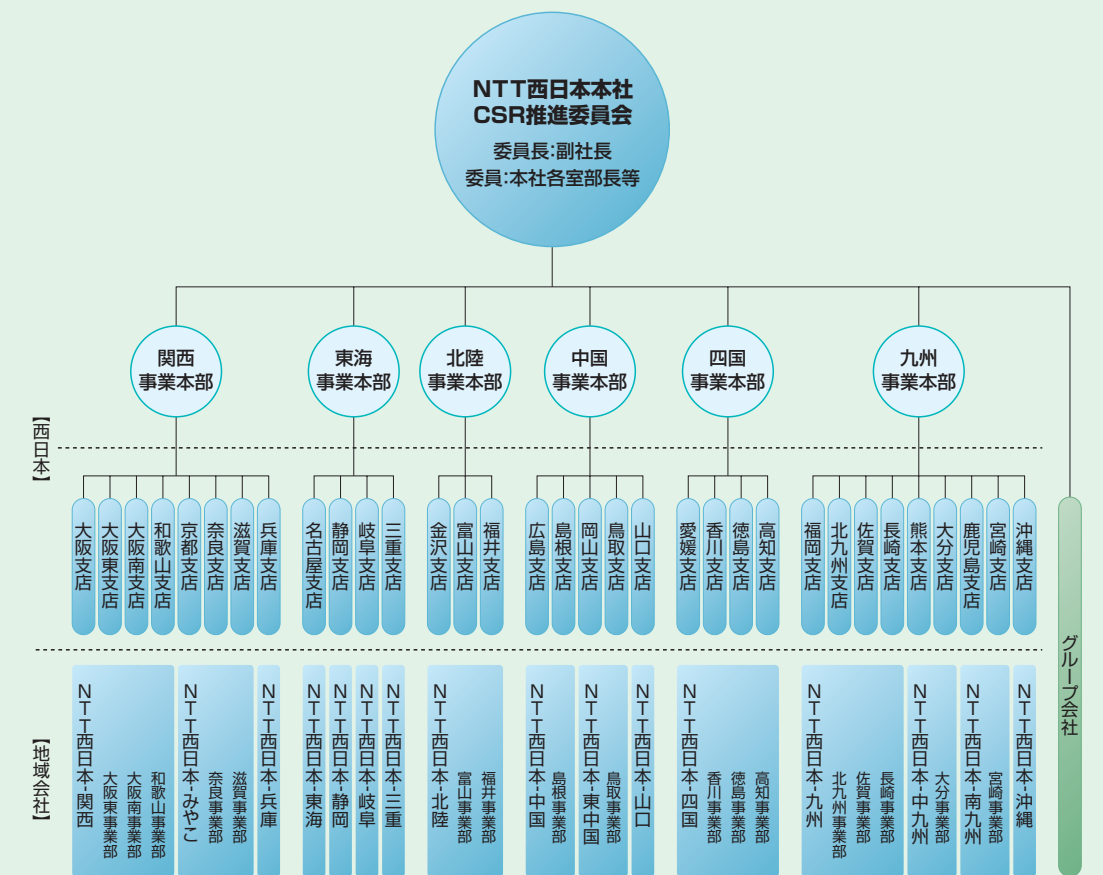
NTT西日本グループのCSR推進に向けた体制

NTT西日本では、CSR活動を経営そのものと捉え、経営会議のもとにCSR推進委員会を設置し、組織横断的な体制を整えています。CSR推進委員会は、四半期に1回定期的に開催するほか、必要に応じて適宜開催するなど、CSR経営の推進を図っています。

また、総務部内に設置したCSR推進室が、関連各部のCSR活動の取りまとめや社内外へのCSR情報の発信など、CSR活動を推進するための事務局的な役割を果たすとともに、NTT西日本グループ各社にもCSR推進委員会を設置し、グループ各社が連携したCSR活動を推進しています。

さらに、2006年度からはNTT西日本グループ全体としてのCSR活動の推進に向け、経営トップを対象とした「CSRトップセミナー」、経営幹部層を対象とした「CSR・コンプライアンス研修」および全社員等を対象とした「CSR研修」を実施しています。

●CSR推進体制



- ・NTT西日本本社、NTT西日本支店、グループ会社が連携しCSR活動を推進
- ・西日本グループ会社各社にもCSR推進委員会を設置し、各社独自のCSR活動を推進